

筑前国分尼寺跡(太宰府市)

ここが筑前国分尼寺跡/説明板が立っている



国分尼寺跡

天平13年(741)聖武天皇は鎮護国家、ごんくふじょう五穀豊穡
を祈るため、諸国に国分寺、国分尼寺建立を命じ
た。尼寺は正式名称を、「ほつりめつざいのてら法華滅罪之寺」といい、尼
僧10人と規定された。ここは筑前国の国分尼寺が
あった所と伝えられるが、今はわずかにたんぼ田圃の中
に礎石が一個残るのみである。なお(筑前)国分寺跡
は東300Mの所にある。

礎石は国分共同利用施設
に移設しています。



伝承地ということか



その右手を見たところ



その右手



更に右手



そしてまた更に右手を見たところ/唯一出土した筑前国分尼寺の礎石は共同利用施設の駐車場一角に移設されているらしい



参考ホームページ

<https://dazaifu-bunka.or.jp/info/spot/detail/16>

<http://dazaifu-sanpomichi.com/%E7%AD%91%E5%89%8D%E5%9B%BD%E5%88%86%E5%B0%BC%E5%AF%BA%E8%B7%A1/>

